

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあつては名称) 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒319-1184 茨城県那珂郡東海村大字舟石川765番地1	
本票作成	部署名：保安管理課				
主たる業種	分類コード	71	業種名：学術・開発研究機関		
事業の概要	原子力に係る研究開発				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	人形峠環境技術センター		岡山県苫田郡鏡野町上齋原1550番地	
特定事業者の該当要件	☒ ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 ☐ ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 ☐ ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 5 年度)	(令和 6)年度排出量		目標年度 (令和 9 年度)	
	6,493 t CO ₂	6,078 t CO ₂		6,428 t CO ₂	
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		(令和 6)年度排出量	
	①	人形峠環境技術センター		6,078 t CO ₂	
				t CO ₂	
				t CO ₂	
				t CO ₂	
				t CO ₂	
削減目標の達成状況	計画期間： 令和 6 年度 ～ 令和 9 年度 (4 箇年度)				
	☐ 総排出量基準	(6)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	☒ 原単位基準	6.4 %	1.0 %	☒ 達成 ☐ 未達	
(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 建物延床面積(工学研究施設のため) 延床面積：71,382㎡		原単位当たり排出量		
			基準年度	(6)年度	目標年度
			0.0910	0.0851	0.0901
			t CO ₂ /(m ²)	t CO ₂ /(m ²)	t CO ₂ /(m ²)
(該当事業者のみ記入)					
ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 6 年度)	達成率等	
【削減状況の自己評価】					
令和6年度は、基準年度(令和5年度)に対して約6.4%減少し、目標削減率1.0%を達成することができた。 減少した原因は以下のとおり。 ・令和6年度は、製錬転換施設において、令和5年度より給排気設備の停止頻度を増加したため、電気使用量が減少した。 引き続き、目標達成に向けて下記に記載の推進体制で取組を継続していく。					

【推進体制】

環境への配慮活動として、温室効果ガスの排出量の抑制に資するため、センター目標を作成し、業務品質保証推進委員会・分科会において、四半期毎にエネルギーの使用量及び温室効果ガスの排出量の達成状況の確認を行っている。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
(令和6年度実施分) ①ウラン濃縮原型プラント ②濃縮工学施設 ③製錬転換施設 ④センター内の事務室等 ⑤センター全施設において (今後実施予定分) ①ウラン濃縮原型プラント ②濃縮工学施設 ③製錬転換施設 ④センター内の事務室等 ⑤センター全施設において	(令和6年度実施分) ①給排気設備の計画停止(継続) ②給排気設備の計画停止(継続) ③給排気設備の計画停止(継続) ④冷暖房温度の管理を徹底し、空調設備の適正な運転 ⑤照明設備のLED照明への順次更新(LED照明の導入検討) (今後実施予定分) ①給排気設備の計画停止(継続) ②給排気設備の計画停止(継続) ③給排気設備の計画停止(継続) ④冷暖房温度の管理を徹底し、空調設備の適正な運転 ⑤照明設備のLED照明への順次更新(LED照明の導入検討)

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--